

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	社会福祉基礎（2年次）【2単位】、（3年次）【2単位】
授業形態	講義形式		
選んでほしい生徒	実務者研修・初任者研修修了認定を目指している生徒		
科目の目標	社会福祉に関する基礎的な知識を学び、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに、社会福祉の向上と福祉社会の発展を担うために必要な態度を身に付ける。		
身に付けてほしい学力	1 社会福祉に関する基礎的な知識を学習する。 2 人間の尊厳と自立支援の必要性や権利擁護の視点を理解する。 3 社会福祉に対する広い視野と福祉観を養い、社会福祉の向上を図る能力と積極的な態度を養う。		
学習計画	単元・教材		単元・教材
	2年次 【1学期】 ・社会福祉の理念と意義 ・社会福祉の歴史と次代の展望 【2学期】 ・生活を支える社会福祉・社会保障制度 【3学期】 ・高齢者福祉と介護保険制度 ・人間関係とコミュニケーション		・社会福祉に関する基礎的な知識、働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について学習する。 ・諸外国や日本の社会福祉思想の歴史的変遷 地域福祉の意義や役割について学習する。 ・社会保障制度の基本的な仕組みや社会福祉の各分野が生まれた社会背景や概要などについて学習する。 ・介護保険制度の基本的な仕組みや運用について学習する。
	3年次 【1学期】 ・障害者福祉 ・生活支援のための公的扶助 【2学期】 ・地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 ・人間の尊厳と福祉社会の創造 【3学期】 ・社会福祉の将来と福祉の担い手		・障害者福祉や公的扶助を学習する。 ・人間の尊厳と自立に関わる介護実践に関連する諸制度について学習する。 ・社会福祉の将来とキャリア形成について学習する。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・社会福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。		
学習のアドバイス	授業に関する課題プリントや小テストが多くなっているが、福祉に関する基礎的な内容を学習することができる。		
教材費			
その他	2、3年次 実務者研修、介護員養成研修(初任者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	介護福祉基礎（2年次）【2単位】（3年次）【2単位】
授業形態	講義形式		
選んでほしい生徒	実務者認定、初任者研修修了認定を目指している生徒		
科目の目標	介護の意味や大切さについて考えます。人を人として尊ぶことや自立に向けた介護について学び、適切に介護を行う力を養います。		
身に付けてほしい学力	1 介護を行う上で必要な感性や考え方を理解し、知識や技術を身に付ける。 2 尊厳の保持のための知識や態度を身に付ける。 3 自立生活に向けた介護の知識や態度を身に付ける。		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	2年次 【1学期】 Ⅰ 介護の意義と役割 Ⅱ 介護福祉の担い手 Ⅲ 介護を必要とする人の理解と支援 【2学期】 Ⅱ 介護福祉の担い手 Ⅲ 介護を必要とする人の理解と支援 Ⅳ 介護における安全確保と危機管理 【3学期】 Ⅲ 介護を必要とする人の理解と支援 ----- 3年次 【1学期】 Ⅵ 介護における安全確保と危機管理 【2、3学期】 Ⅱ 介護福祉の担い手 Ⅲ 介護を必要とする人の理解と支援		・ボランティア活動やビデオ視聴などを行い介護の意味や大切さ、また介護者が守らなければならないこと、求められることについて考えます。 ・介護福祉の歴史や介護職が働く場、介護サービスや関係する制度、安全管理などについても学びます。 ・理学療法士の先生によるリハビリテーションについての授業や、福祉用具の講習もあります。 ・福祉用具や介護ロボットについての意義や活用について学びます。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。	・介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・よりよい介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 介護について考えていくので、身近な人に話を聞いたり、新聞や本などを読んで関心を持ち続けたりすることが大切です。 2 学校で学んだことを「介護実習」やボランティア活動で確認してみよう。		
教材費			
その他	2、3年次 介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	コミュニケーション技術（2年次）【2単位】
授業形態	講義形式＋演習		
選んでほしい生徒	実務者研修、初任者研修修了認定を目指す生徒、興味・関心のある生徒		
科目の目標	福祉実践におけるコミュニケーションの知識と技術について学び、具体例を通して学習を行うことで福祉の現場で活用することができるようになる。		
身に付けてほしい学力	1 コミュニケーションの大切さや役割の理解と、基本的な技術(手話・点字を含む)を身に付ける。 2 利用者や家族に応じたコミュニケーションの知識と態度を養う。 3 チームの中のコミュニケーションや連携の知識と態度を養う。		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	【1学期】 1 介護におけるコミュニケーション ・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの基本技術 ・援助の技法とコミュニケーション 【2学期】 2 利用者や家族とのコミュニケーション ・サービス利用者や家族との関係づくり ・サービス利用者に応じたコミュニケーション 【3学期】 3 チームのコミュニケーション ・記録 ・チームによる連携 ・スーパービジョンの技法		・福祉実践におけるコミュニケーションの基本を学びます。 ・基本的な技術を身に付けるため、ロールプレイ、点字、手話などの演習を行います。 ・利用者の障害に応じたコミュニケーションについて勉強し、記録の仕方、連携の必要性を介護実習の中でも活かしていくようにします。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対人援助について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 ロールプレイ・点字・手話など演習が多いので積極的に取り組もう。 2 ボランティア活動や介護実習を活かし、それぞれの利用者、家族とのコミュニケーション、連携について現場での学習を大切にしよう。		
教材費			
その他	介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	生活支援技術（2年次）【3単位】（3年次）【3単位】
授業形態	講義形式＋実習(生活支援技術など)		
選んでほしい生徒	実務者研修、初任者研修修了認定を目指す生徒、2年次は興味・関心のある生徒		
科目の目標	基礎的な介護の知識を知り、技術が出来るようになる。様々な介護の場面において、適切で安全な介護が身に付く。		
身に付けてほしい学力	1 基本的な介護の知識と技術。 2 様々な介護の場面に対応できるための知識と基本的介護技術を応用する力。 3 医療的ケアを行うための知識と技術。		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	2年次 【1学期】 Ⅰ 生活支援の理解 Ⅱ 自立に向けた生活支援技術 【2学期】 Ⅱ 自立に向けた生活支援技術 【3学期】 Ⅲ 終末期・緊急時の支援		・介護の知識を学習し、ベッドメイキング、車椅子への移乗、食事、排泄、入浴の介助などを練習します。 ・リハビリテーション、福祉用具の先生に来ていただいた授業もあります。
評価の観点・評価方法	3年次〈医療的ケアの講義と演習を含む〉 【1学期】 Ⅳ 認知症・障害のある人に応じた生活支援技術 Ⅴ 医療的ケア 【2学期】 Ⅴ 医療的ケア 【3学期】 Ⅴ 医療的ケア		・認知症や様々な障害に応じた介護技術を練習します。 ・利用者に応じた福祉用具の使い方を学習します。 ・医療的ケアについて講義(50時間)と演習を行います。
学習のアドバイス	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・自立生活の支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、実技テスト、出席状況、授業態度、提出物も課題等を総合的に判断して評価を行う。			
1 実習が多いので、実技を身に付けるために放課後などに練習をすると上手になります。 2 生活支援について学んでいくので、家での手伝いをする事やボランティア活動なども大切です。			
教材費	実習服＋実習費（約10,000円） 3年次 新・介護福祉士養成講座 15 医療的ケア（2,860円税別）		
その他	介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福祉	科目名	介護過程（3年次）【3単位】
授業形態	講義形式＋演習		
選んでほしい生徒	実務者研修、初任者研修修了認定を目指す生徒		
科目の目標	福祉に関する科目で学んだことを総合的に活用して事例研究やケアプランの作成を行い、個別性を重視した介護を実践的に学習することを通じてより視野の広い応用性のある専門的な知識や技術を深める。		
身に付けてほしい学力	1 人間としての尊厳保持と自立生活支援の点からの介護過程の意義と役割の理解 2 介護過程が展開できる能力と態度		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	【1学期】 ・介護過程の意義と目的 ・介護過程の展開 ・介護過程の実践的展開 【2学期】 ・介護過程の実践的展開 ・介護過程とチームアプローチ ・介護過程の実践的展開 【3学期】 ・事例問題学習		・介護上の問題を解決するための方法としての介護過程について学習する。 ・受け持ち利用者の介護計画を作成し、検討する。個人またはグループで発表する。 ・チームアプローチについて具体的な事例で学習する。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。		
学習のアドバイス	1 今まで学習してきたことを活用して介護上の問題点を解決する方法を学びます。特定の科目にとらわれることなく広く自由な発想ができます。 2 他の人の考えを知ることにより、新たな気付きや視点が明らかになります。 3 現場実習で受け持った利用者の介護計画を作成するなど、より実践的な学習が可能です。		
教材費			
その他	介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	介護実習（2年次）【2単位】（3年次）【4単位】
授業形態	現場実習		
選んでほしい生徒	実務者研修、初任者研修修了認定を目指す生徒		
科目の目標	これまでに学習した知識や技術を使いながら、介護サービスを提供する体験を通じて、実際に介護職として働くことのできる力を養う。		
身に付けてほしい学力	1 介護現場で介護技術、コミュニケーションを実践する力。 2 他職種との協力やチームケアについての理解。 3 個別的な介護について理解し、実践する力。		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	2年次 【2学期】 ・高齢者施設での現場実習		・現場実習は学校に登校せず、丸1日を高齢者施設で実習を行う。高齢者施設での実習は10日間行われる。利用者や職員とのかかわりを通して、福祉施設や介護業務について実際に学んでいく。
	3年次 【1学期】 ・高齢者施設での現場実習 ・在宅サービス提供現場実習 【2学期】 ・高齢者施設での現場実習 ・通所サービス提供現場実習		・現場実習で利用者について深く理解し、一人一人の介護に必要なことを考え、その人にあった介護計画を立てる。またいろいろな職種の専門職が協力して利用者さんを支えていることを学んでいく。 ・在宅サービスでは、ヘルパーさんに同行して利用者の自宅を訪問し、在宅介護について学んでいく。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・介護及び支援の実践について体系的・系統時に理解していると同時に、関連する技術を身に付けている。	・介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、実習指導者による評価、実習記録、介護計画、現場実習前後の感想、実技練習への意欲や実習中の態度等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 現場実習は利用者が実際に生活をされているところで行わせていただくので、十分な準備を行って取り組みます。 2 慣れない環境での実習となるため、自己の健康管理が大切です。		
教材費	施設までの交通費（実費）、インフルエンザ等予防接種		
その他	介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		

令和7年度 シラバス

教科名	福 祉	科目名	こころとからだの理解（2年次）【4単位】 （3年次）【3単位】
授業形態	講義形式		
選んでほしい生徒	実務者認定、初任者研修修了認定を目指す生徒 3年次 興味・関心のある生徒		
科目の目標	介護を行うために必要な医学に関する知識や心のしくみ、心理的影響や障害について学び理解を深め、実践の場で関連付けて活用できる力を養う。		
身に付けてほしい学力	1 人体の構造とその働きを理解し、主な病気と加齢によっておこる心身の変化を理解する。 2 高齢者、障害者の心理について理解する。 3 認知症とその対応について理解する。 4 障害の特徴をふまえたうえで、介護方法を理解する。		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	2年次 【1学期】 ・こころとからだの基礎的理解 【2学期】 ・生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 【3学期】 ・人間の成長と発達の基礎的理解		・人間の心理、人体の構造と機能の基礎的な知識、生活場面に応じた心身の状況や機能低下や障害が及ぼす影響などについて学習する。 ・サービス利用者の日常生活の全てに関連する行為や緊急時・災害時、終末期の心理的・身体的側面についての基礎的な知識や他職種との連携や福祉用具と介護ロボットについても学習する。 ・人間の成長と発達の過程における、身体的、心理的、社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響について学習する。
	3年次 【1学期】 ・認知症の理解 【2学期】 ・障害の理解 【3学期】 ・障害の理解		・認知症の人の心理や身体機能等の知識や認知症の人を中心に据えたケアについて学習する。 ・障害に関する考え方や種類、特性、日常生活への影響などについて学習する。
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。		
学習のアドバイス	1 毎回の予習プリントをきちんと仕上げて、予備知識を持って授業に出席しよう。 2 医学用語が多くて理解しにくいかもしれませんが、何度も書いて覚えていきましょう。 3 自分の体に関連する内容のため興味がわくし、授業が進むにつれて医学番組などもよく理解できるようになると学びが実感できます。		
教材費	2年次 3年次 介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 (3,080 円税別)		
その他	2、3年次 介護員養成研修(初任者研修)(実務者研修)修了認定に必要な科目です。		